11-90-034



1000ルーメンTrionic LEDフロントライトをお選びいただきありがとうございます。

このマニュアルでは、ライト ホルダーとライトを Walker に取り付ける方法 (下の左側の列) と、Veloped に取り付ける方法 (下の右側の列) の両方を示します。

左の写真の A は、Walker 用のホルダー取り付け部品 (ネジ 2 本 + ワッシャー 2 個) を示しています。 B は、Veloped 用のホルダー取り付け部品 (ネジ 1 本 + ローレットナット 1 個 + ナット 1 個) を示しています。

ライトホルダーの取り付け

歩行器の説明書



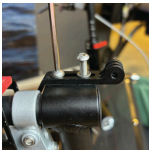
A1. 黒い半垂直チューブの上部に、ブレーキ レバーの前にあるグリップ チューブを固定する 2 本のネジがあります。



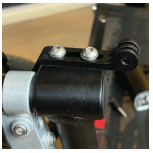
A2. LED ライトに付属の 5mm 六角レンチを使用して、両方のネジを緩めます。



A3. グリップクランプから2本のネジを取り外します。



A4. ライトホルダーをグリップクランプの上に置き、円形のスロット付きライトアタッチメントを前方と上向きに向けます。クランプの穴に、ワッシャー付きの2本のネジを差し込みます。



A5. 5mm六角レンチで2本のネジを締めます。注意：ネジはグリップチューブ、ゴムグリップ、ブレーキレバーを固定するため、しっかりと締め付けることが重要です。

Trionic Velopedの説明書



A1. VelopedのU字型グリップバーの中央の折りたたみヒンジにあるネジを見つけます。付属の4mm六角レンチでネジを緩めて取り外します。



B2. 古いネジを、LEDライトに付属の長いネジに交換します。長いネジをヒンジに取り付け、4mm六角レンチで締めます。



B3. ライトホルダーの短い角度のついた端を、U字型グリップバーの下側にあるネジの下端に取り付けます。ホルダーは下向きにしてください。ワッシャー1枚とローレットナットを指で締めてホルダーを固定します。



B4. ホルダーが意図せず横向きになるのを防ぎ、ホルダーをよりしっかりと固定するには、ローレットナットを付属のステンレス製ナットに交換し、10mmのスパナで締めます。



B5. この写真は、ライトホルダーが正しく取り付けられている様子を示しています。

LEDライトをホルダーに取り付ける

歩行器の説明書



A6. ライトを取り付けるための 2 つのスロットがある、ライト ホルダーの円形の前面端を確認します。



A7. ライトのスロット付きブラケットをホルダーのスロットに差し込み、位置が合っていることを確認します。歩行器の進行方向に向かって左側から付属の蝶ナットを差し込み、締めます。

Trionic Velopedの説明書



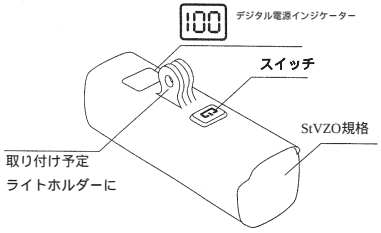
B6. VelopedのU字型グリップバーの中央の折りたたみヒンジにあるネジを見つけます。付属の4mm六角レンチでネジを緩めて取り外します。



B7. ライトを取り付けるための 2 つのスロットがある、ライト ホルダーの円形の前面端を確認します。

使用方法

概要



ライトの操作方法

スイッチを2秒間押し続けると、ライトのオン/オフが切り替わります。1回クリックするとモードが切り替わり、ダブルクリックすると超高輝度モード（1000 lm）が有効になります。

モード	ランタイム	光の力
100%安定	3時間半+30分 セーフモード	600ルーメン
▼ ワンクリック 50%安定	4.5時間+30分 セーフモード	300ルーメン
▼ ワンクリック 25% 安定	14時間30分 セーフモード	150ルーメン
▼ ワンクリック ゆっくり点滅	**14時間30分** セーフモード	
▼ ワンクリック SOS		
▼ ダブルクリック 超高輝度モード	2時間半+30分 SAFE MO DE	1000ルーメン

注意

充電中、バッテリー内部の化学反応により、バッテリーが高温（最大40℃）になることがあります。これは正常な現象です。また、充電前にバッテリーが完全に放電されていない場合、バッテリーが熱くなることもあります。 バッテリーの寿命には、セルの種類、使用状況、メンテナンス頻度、気温、充電サイクル数など、いくつかの要因が影響します。一般的に、バッテリー容量が大きいほど、動作時間が長くなります。 バッテリー容量は、300～500回の充放電サイクルを繰り返すと、初期容量の約80%まで低下する可能性があります。適切なお手入れを行えば、バッテリーの寿命は最大3年です。 防水性能は雨水のみに対応しています。清掃の際は、バッテリーまたはライト全体を水に浸さないでください。必要に応じて、柔らかい湿らせた布でライトを拭いてください。

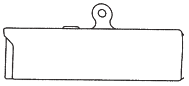
バッテリー性能

バッテリーの性能は温度変化によって大きく影響を受けます。 -低温：0℃では容量が5～10%減少し、動作時間が50%短くなります。-20℃では容量が30%減少し、動作時間が70%短くなる可能性があります。温度が20℃まで上昇すると、性能は通常の状態に戻ります。 -自己放電率：室温では、バッテリーは1日に約1%の容量を失います。40℃で保管すると自己放電率が増加し、1日に約5%の容量を失います。 バッテリーの最適な性能を維持するには、極端な温度にさらさず、涼しく乾燥した場所に保管してください。 バッテリーを長期間使用しない場合は、3ヶ月ごとに必ず充電してください。

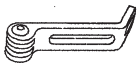
セーフモード

バッテリー残量が少なくなると、ライトは自動的に 50 ルーメンのハイビーム セーフ モードに切り替わり、さらに 30 分間動作します。

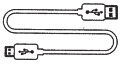
パッケージには以下が含まれています



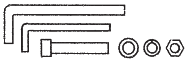
1. LEDライト



3. ホルダー

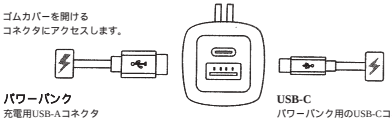


2. USB-Cケーブル



4. 六角レンチとネジ

充電とパワーバンク



パワーバンク
充電用USB-Aコネクタ
その他のデバイス（例：電話、リアライトや歩数計など。

USB-C
パワーバンク用のUSB-Cコネクタ。
ケーブルを充電器に接続します
(最大5V)。